

茨城県西6月どりのニューエース!

舞にしき キャベツ

2017年初夏どりのキャベツは、定植期から続いた乾燥で病害こそ少なかったものの玉伸びが悪く、収穫時期が大きく遅れました。毎年のように変わる気象条件に対応するために、品種に求められるものは「鈍感力」。「舞にしき」は発売以来、乾燥年も雨年も変わらず安定した結果を出し、その鈍感力を遺憾なく発揮しています。生産現場からの報告です。



「舞にしき」は根が深い

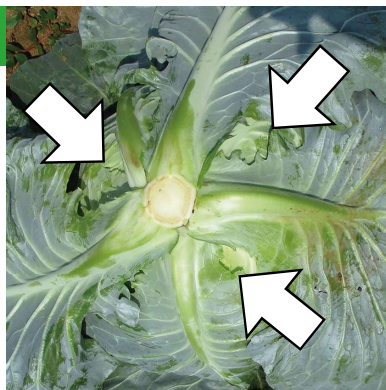
右写真の通り、3つ並んだ品種のうち、水を掴まえる太い根が最もよく伸びているのが「舞にしき」です。
これだけ深く張る根が、乾燥年でも雨年でも生育が安定する秘密です。



「舞にしき」はお尻が自慢

6月は、多雨や農薬散布によって球尻付近に水がたまりやすくなる時期。

「舞にしき」は、外葉の間から水が抜けやすく、球尻周辺に細菌繁殖の温床となる水たまりが出来にくい構造をしています。



外葉の隙間に球尻が見える



球尻の汚れが少ない

「舞にしき」は箱詰めが超スムーズ

「舞にしき」なら、平玉で女性でも片手で扱いやすく、8個玉でも6個玉でも最後のひとつの箱詰めがとてもスムーズ。入れる向きで悩んだり、入れなおしの必要がありません。ひと箱でも多く出荷したいこの時期にぴったりのキャベツです。



茨城県西地区では、1/10～2/28播種がオススメ!詳細はP18へ!